

# 八幡市 歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略 概要版

## 未来戦略の目的

石清水八幡宮とその門前町としての未来の目指す姿を設定し、具体的な進め方を期間別に示す。

かつては石清水八幡宮に詣でる参拝客で大変賑わっていた場所  
千年以上の歴史や日本文化を伝えられるまちへ

## コンセプト

### 「神仏習合の聖地」の創造

神仏習合のストーリーを活かしたまちづくりで  
日本から、世界から、訪れたい集いの拠点となる

「神仏習合」の精神性+世界観は  
世界平和を表す独自の魅力

石清水八幡宮とその門前町には  
神仏習合のストーリーが点在

## 2つのエリアでの戦略

方向性

### エリアA

史跡  
石清水八幡宮境内  
(隣接地含む)

空中茶室「閑雲軒」にまつわる  
新たな観光名所創造

閑雲軒跡をはじめとする史跡の観光活用

既存周辺施設の活かし方  
およびアクセス性の向上

全体 世界遺産にふさわしい姿

#### 男山展望台に創る「新・空中茶室」

空中茶室のイメージを先導する  
ストーリー性ある施設

- エデュテインメントの場づくり**  
学びながら楽しめる文化サロンのような場
- 頓宮の活性化**  
下賜建物の頓宮齋館・頓宮参集所の公開  
神聖な雰囲気をもつ建造物の保全
- 新たな導線の形成とアクセス性の向上**  
一ノ鳥居から歩いて上がりたくなる仕掛けづくり  
山上および山下駐車場の環境づくり
- 歴史と自然が調和した史跡境内の保全**
- 神仏習合の特性を活かした史跡の整備**  
神仏習合の宮寺+自然とともにある日本の  
精神性を伝える
- 親しまれる史跡の活用**  
坊跡の散策路整備や参道沿いの継続的な環境整備  
瀧本坊跡の優先的な整備

©OpenStreetMap contributors

方向性

### エリアB

京阪石清水八幡宮駅界隈  
から東高野街道沿い

4つのエリアごとのまちづくり

古民家活用の体制・仕組みづくり  
神仏習合と分離のストーリー発信  
歩きやすい街道の環境整備

全体 地域住民が誇りに感じ、人を惹きつける街道

古民家活用の体制・仕組みづくり  
(支援制度の導入)  
神仏習合と分離のストーリー発信  
(スポットの保存・発信力強化)  
歩きやすい街道の環境整備

特徴をもとに設定した  
4エリアごとのまちづくり

八幡の玄関口で観光客との接点

優先して  
着手

- ・ 景観形成
- ・ おもてなし機能の充実

古民家のカフェ化や  
イベント時公開などの動き

古民家を活用した事業者  
などへの支援

由緒ある古民家が多い

地域住民がふれあい、  
来訪者と交流できる拠点整備

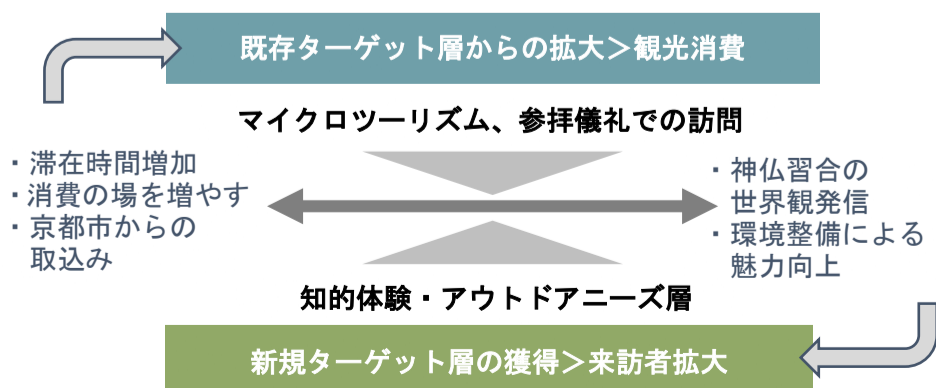
神仏分離で石清水八幡宮から  
移築された建物が歴史を伝える

・ 第二の玄関口として景観向上

・ 外国人観光客向けの整備

## ターゲット戦略

- **既存の参拝客の観光消費を高める**  
⇒石清水八幡宮やまちなかでの見どころや消費の場を増やす
- **新規ターゲット=知的体験、自然体験など歴史文化に興味を持つ国内・海外からの来訪者**  
⇒「神仏習合の聖地」であったことが体感できる整備



具体的な進め方

エリアA 石清水八幡宮境内が目指す姿を実現

エリアB 東高野街道が目指す姿を実現

短期プラン (5年以内)	① 男山展望台（上面および下のアプローチ）の足元整備 <span style="float:right">新・空中茶室創造</span> 閑雲軒が崖にせり出し空中を散歩するような演出が凝らされていたことを来訪者が感じられるよう、展望台上面の一体的な足元整備を行うとともに、下面へのアプローチを整備する。
	② エデュテインメント施設としての「新・空中茶室」設置 <span style="float:right">新・空中茶室創造</span> 男山展望台に、空中茶室「閑雲軒」をモチーフにしたデザインで、踊り口に至る廊下での驚きの体験や、茶文化など日本文化を体験できるような、学びながら楽しめる施設を設置する。
	③ 男山四十八坊跡など魅力探求ツアー開催とニーズ集約 <span style="float:right">史跡の観光活用</span> 坊跡の歴史や男山の自然体験などを題材としたツアーを開催しながらニーズを集約し、課題整理したうえで内容の充実化を進める。
	④ 男山四十八坊跡の散策路整備・瀧本坊跡（閑雲軒跡）の環境整備 <span style="float:right">史跡の観光活用</span> 神仏習合の聖地であったことが体感できるよう坊跡内の参道を散策路として整備し、坊跡での静かな時間を楽しめる環境整備を行う。また、閑雲軒と書院跡や石垣の整備を行い、解説板や手すり設置など安全対策により新たな山内の名所となる整備を行う。
	⑤ 頓宮周辺の魅力向上 <span style="float:right">周辺施設・アクセス</span> 下賜建物である頓宮齋館・頓宮参集所の公開、山下の遊休施設の活用、トイレ改修など駐車場関係の整備、頓宮周辺地区の魅力向上を図る。
中・長期プラン (5年以上)	① 男山展望台下のアプローチ沿い施設の整備 <span style="float:right">新・空中茶室創造</span> NPO 法人八幡たけくらぶなど、男山・石清水八幡宮と関わりのある活動を促進する施設を整備するとともに、エジソンと男山の竹との関係を紹介する。また、人の流れができることにより、観光客の消費の場となるような民間事業の参入を促進する。
	② 文化サロンの利用状況を生み出す <span style="float:right">新・空中茶室創造</span> エデュテインメント施設としての「新・空中茶室」活用を促進する中で、ライブラリーカフェの文化サロンのような利用の機会をつくり、定着するよう促進する。
	③ AR や映像も活用した坊跡でできる体験メニューの造成 <span style="float:right">史跡の観光活用</span> 坊のストーリーの理解を深めて、各坊にちなんだ心を満たす体験メニューをAR や映像も活用した中で造成し提供する。
	④ 男山四十八坊跡の環境整備 <span style="float:right">史跡の観光活用</span> 石垣保全、景観阻害樹木の除去など次世代に受け継ぐ整備とともに、埋もれた参道の復活や、その他の坊跡の整備などを行う。
	⑤ ビジターセンター機能の設置 <span style="float:right">周辺施設・アクセス</span> 頓宮周辺建物や駅前に、ビジターセンターの機能を持った施設を設置し、神仏習合の世界観を伝える場づくりを進める。
	⑥ 歩いて上がる導線の強化 <span style="float:right">周辺施設・アクセス</span> 一ノ鳥居から歩いて上がるのが楽しめるような環境整備を強化し、駅前から案内する仕掛けをつくって新たな観光導線を形成する。

短期プラン (5年以内)	① 駅隣接地区のファサード <sup>1</sup> 整備 <span style="float:right">駅前・放生川エリア</span> 駅前の建物について、門前町の玄関口としてふさわしいファサード整備を行う。
	② 拠点古民家の活用 <span style="float:right">神原エリア</span> 中間地点として候補に挙がる古民家については民間活用も含め、地域住民に愛される活用方策の可能性を調査し、整備に向けた取組を進める。
	③ 古民家保全を目的に所有者の支援策を導入（マッチングや負担軽減策など） <span style="float:right">全体</span> 今残る貴重な古民家について保存や相談の仕組みをつくり、活用希望者とのマッチングや、所有者の維持管理にかかる負担軽減につながる方策を検討し導入する。
	④ 東高野街道の案内標識の整備 <span style="float:right">全体</span> 駅前から松花堂庭園・美術館まで、東高野街道を迷わず歩けるよう、おもてなし環境整備として案内板の設置を行う。
	⑤ 神仏習合のストーリーを活かしたソフト事業の展開 <span style="float:right">松花堂エリア</span> 旧今中畳店の公開や、松花堂庭園・美術館での既存の文化体験の充実など、ソフト事業の展開を通して、松花堂昭乗や神仏習合のストーリーをPRする。
中・長期プラン (5年以上)	① 東高野街道沿いの修景整備の促進 <span style="float:right">駅前・放生川エリア</span> 東高野街道沿いの景観形成について、古民家の保存を含め、沿道建物が調和した修景に取り組む。
	② 松花堂庭園・泉坊書院の活用検討 <span style="float:right">松花堂エリア</span> 書院など内園整備完了に合わせ新たな体験メニューを構築し、石清水八幡宮など他スポットとの周遊の仕組みづくりや庭園に付随する美術館の機能強化を行う。
	③ 空き店舗への出店促進、既存店舗の事業継承 <span style="float:right">全体</span> エリア内の空き店舗に、門前町の賑わいにつながる店舗の出店を促進するとともに、街道沿い既存店舗が継続営業を図るため、事業継承についての支援などを行う。
	④ 安全に歩ける環境・移手段の確保 <span style="float:right">全体</span> 安全な歩行環境整備とともに、各エリア間の快適な移手段の確保を進める。
	⑤ 宿泊施設の誘致 <span style="float:right">全体</span> 古民家などを活用した宿泊施設を誘致する。
	⑥ エジソン生家博物館の建設 <span style="float:right">駅前・放生川エリア</span> エジソンと本市の関係を後世に伝える拠点となるエジソン生家博物館を建設する。
	⑦ 松花堂エリアの賑わい創造と大阪方面からのアクセス強化 <span style="float:right">松花堂エリア</span> 飲食などの消費の場を含めた賑わい創造を図る。枚方方面から八幡への誘導など、誘客ルートについては戦略的なアクセスを確立して誘導を行う。

<sup>1</sup> ファサード：建物を正面から見たときの外観のこと。